



# JCLIFE

2020年  
12月号



一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F  
TEL: 0848-20-1110 FAX: 0848-20-1112 E-mail: ojc@urban.ne.jp Facebook: <http://www.facebook.com/isojcnw>

## 11月例会 臨時総会 バッチ授与式

11月16日(月)

尾道国際ホテルにて一般社団法人尾道青年会議所11月例会が開催されました。

例会内にて臨時総会が開かれ、明るい豊かな社会の実現に向けて尾道青年会議所が今後進むべき道筋である

2020年代活動指針について、夢希望憧れ委員会の高山委員長より上程され、加度理事長が議長の元、全会一致で審議可決されました。

この指針を会員一人ひとりに刻み、今後尾道青年会議所が未来に責任を持った活動を行い、尾道の明るい豊かな社会の実現に向けて、気を引き締めて邁進してまいります。

臨時総会終了後は本年度の新入会員8名の『バッチ授与式』を執り行いました。

厳かな雰囲気の中、8名の新入会員がご入会いただきました。この若く新たなメンバーと共に尾道のまち



とひとのために切磋琢磨してまいります。

そして高橋洋樹委員長率いる会員拡大委員会より

『拡大実践会議〜尾道で繋がる未来のなかまたち〜』

と題し拡大手法の追及や会員拡大活動の重要性、現会員である我々の未来への責任を深く学ぶ例会となりました。

拡大は組織の存続や運営のためにするものではありません。明るい豊かな社会を築くために行うべきものです。

これからの地域の未来を本気で考え、一緒に行動するなかまを見つけ、企業や地域を担う魅力的な人材を育成していける団体を目指してまいります。

(記事：岩井達也)



## 防災 出張授業

本年度社会開発委員会では、市民の皆様への防災意識向上と防災教育の普及を目的として小学校向けに防災出張授業を行ってまいりました。10月14日に因北小学校よりスタートし、12月1日の日比崎小学校にて行いました授業で全6回を終了いたしました。先生方より今後の防災教育普及活動



についてご意見もいただきました。本年度の活動で急激に防災意識が向上することは不可能ですが、折に触れ、本年度の事業を思い出して

いただき、繰り返し取り組んでいただくことで、防災意識の備わった家庭を増やしていただき、10年後、防災意識の備わった子ども達が大人になり、20年後防災意識の備わった家庭をつくっていただきたいと思います。本事業にご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

(記事：社会開発委員会委員長 小川直紀)





この度は、予想をはるかに超えるご支援を承りました事、心より感謝申し上げます。  
 夢・希望・憧れ委員会として尾道の未来を考え、この状況下において皆様は何をお届けすることが出来るのか、皆様と一緒に何が出来るのかを考えながら活動させて頂きました。  
 クラウドファンディングでのご支援にはじまり、花火の打ち上げの際にも多くの心温まるお言葉を頂き、本当に報われる思いでした。  
 「尾道はそんなことはなかった」というポスターのフレーズ通り、熱い気持ちを心に刻み今後も精一杯活動して参りますので、何卒宜しくお願い致します。  
 (記事:夢・希望・憧れ委員会 委員長 高山 敦好)

## プロジェクトにお寄せいただいた感想をご紹介します (抜粋)

背景は本プロジェクトで打ち上げられた花火です

ありがとうございました。そしてご苦勞様でした。  
 久々にこんな暖かいプレゼントいただいて、懐かしいようなうれしい気分になりました。  
 これからの活動も期待しております。

このような取り組みを応援したいです！  
 頑張ってください！

尾道サプライズ花火！  
 感動をありがとうございました！

今回は、実施場所を非公開にしての打ち上げ実施で情報を絞り、安全を確保するという難しい制約の中、大きなトラブルなくプロジェクトが完了したことに敬意と感謝を表します。  
 かなり特殊な活動となったと存じますが、今回の経験も活かして一層の青年会議所の盛会を期待します。  
 ありがとうございました。

尾道に花火が上がった。  
 20時半から音が聞こえてきて、15分間だったらしく、猫娘なだめて服きて慌てて外出たら終わった。  
 でも、音だけは聞こえた。ありがとう花火上げてくれた方々

尾道花火打ち上げプロジェクトを企画して頂いた方とクラウドファンディングに参加してくれた方に感謝を。  
 このご時世だからこそ力強さの中の美しさを感じられる素敵な花火でした…ありがとう。

今日 20:35 頃から、尾道駅前緑地の対岸から花火があがりました。  
 久しぶりに目の前で弾ける光を見て、一帯の空気を震わす音を聴いて、嬉しくてちょっとウルっときました。

応援しています！こころ和む時間を楽しみにしています！

今年中止かと寂しい思いをしていましたが、  
 素敵な内容に少しだけでもお手伝いが出来て、  
 とても嬉しいです。  
 身体に気をつけて頑張ってください。

今年、花火を初めて観ることが出来ました。  
 急に上がりだしたから、慌ててベランダに出たけどすごく、すごくキレイでした。  
 企画してくれた方々、ありがとうございました。  
 最後はやっぱりいつもの通りキレイ過ぎて、感動して、涙出ました。  
 当たり前だった尾道の花火。来年は！！

第二の故郷、尾道！応援してます！

素晴らしい企画ですね。  
 尾道出身者として誇りに思います。  
 成功をお祈りしています。

尾道もお祭りや花火大会が全部なくなってさみしかったんですが、  
 青年会議所の方が企画してくれたそうです。  
 寒かったですが、集まった地元の皆さんも適度に間隔をあけて  
 楽しそうに鑑賞していました

尾道、花火が上がったんだねー  
 いいないいなー！

今夜、尾道に突然花火の炸裂音が轟いた。  
 ベランダに出ると竹林の向こうに大きな花火が明々と咲いている。  
 コロナ禍のサプライズ花火だ。大輪の花火の雫たち。  
 消え行く炎に束の間うつづを忘れた。

尾道花火プロジェクトが本日あって、  
 突然うちの店の真裏で上がった花火  
 花火の日は地獄のような仕事なので  
 ゆっくり見れたのは開店以来なかった。  
 コロナに負けず盛り上がりよう！！

今は他県で学生をしています、尾道で育ちました。  
 大好きなふるさとが振興のため立ち上がろうとしていて、嬉しかったです。  
 貧乏勤労学生なので微々たる金額ですが、応援させてください。  
 きれいな花火が、大好きな尾道を照らしますように。

応援しています！頑張ってください！  
 地元を盛り上げましょう！

今年から尾道に引越してきてお祭りも花火も  
 中止になってしまっていたので、  
 残念でしたがこういうイベントに  
 少しでも協力できればと思い支援させていただきます。  
 これからも頑張ってください応援してます！！

毎年家族で住吉花火を観に行ってます。  
 フィナーレはいつも市役所そばで迎え、最後に大拍手が必ず起こり、  
 観ている人の気持ちが一つになる様な感じも好きです。  
 「今年も観れて良かったね」と歩いて帰りながら話し、  
 良かったなぁと毎年しみじみ思います。  
 今年は中止になり残念に思っていました。  
 そばで観ることはできませんが、  
 どこかで花火を目にする方がいらっしたら元気を貰えると思います。  
 素晴らしい企画ありがとうございます！  
 応援してます。頑張ってください！

豊かな人材育成委員会は、12月6日の日曜日に尾道市内の全小学6年生を対象に、「空に想いを」と名付けた事業を行いました。

今年はコロナウイルスの影響により様々な学校行事が中止に追い込まれ、規模を縮小しての開催になったりと、子供達が例年通りに思い出を作ることができなかった背景があり、「少しでも子供達の思い出に残るようなことができないか」という思いから、バルーンリリースを行いました。

小学校6年生の皆さんに事前に「短冊に願い事」を書いてもらい、当日参加できなかった児童達のものも回収し、事業に望みました。

当日は天候にも恵まれ、願いをくくりつけた色とりどりの風船、約1200個が真っ青な空へ舞いました。

司会のローランド金田さんとバルーンパフォーマーのakiyoさんのご協力もあり、当日は始終楽しい雰囲気溢れ、バルーンリリースの瞬間には大きな歓声が尾道駅前には響き渡りました。

児童達の短冊には「コロナウイルスの収束」を願う物が多く見られました。また、「みんなが幸せに生きられますように」「医療従事者の方へ感謝します」など、他者を思いやる願いも多く見られた他、「明るい未来が訪れますように」などといった、未来への希望を綴るものも多くありました。

コロナウイルスが収束した後、こういう立派な想いを持った子供達が創り上げる地域や社会はきっと素晴らしい物になるだろうと思えた一日でした。改めて、コロナ禍の難しい状況の中、事業にご協力頂いた皆様、ご来場頂いた皆様に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

(記事:豊かな人材育成委員会 委員 加藤 雅崇)

## バルーン 事業



# 追い出し ゴルフ大会



去る11月23日、うずしおカントリークラブにて、秋季ゴルフ大会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、多くの先輩方に御参加頂きまして、盛大に行うことが出来ました。

今年は卒業予定者の、川原浩太さんが優勝しました。近年の秋季ゴルフ大会は先輩方が優勝されていましたが、今年は現役メンバーが優勝したのでとても嬉しかったです。

次回は春に行う予定になっておりますので、御参加宜しく御願致します。

(記事…会員拡大委員会 岡本 正世)



どうせなら  
わらってしまえ  
闘病記 完結編

編集後記

HP



facebook



総務広報委員会の島田です。あれやこれやで私の闘病記も完結編を迎えました。山本委員長から執筆料が入金されるのを心待ちにしております。何と言っても、身を削っての執筆作業ですから!楽しみにしております♪

入院中のお話をひとつ。思い返せば、手術後も食事はなんとか自分で出来ましたが、看護師さんから「トイレはお手伝いしますよ」と言われた時のショックは

忘れられません。手術直後の痛みは本当に激痛です。はっきり言ってトイレを自力で完了する自信はまったくありませんでしたが、「いえ、自分でできます!!(汗)」と言い切りました。本能的に拒絶しました。考える余地もありません。嫁でも無理です。あれを嫁から言われたら「もう殺してくれ!!」と言ったでしょう。

私のどうでも良いこだわりはさておき、深夜2時、その時はやってきました。小はまだしも、問題は大きいです。服を下ろすのも一苦勞ですが、難敵は拭くという動作です。目標が何と遠いことか…。しかしもう「痛い」なんて言ってもらえません。看護師を呼ぶくらいなら、少々傷口が開いてもかまいません。痛みを耐え必死に腕を伸ばします。肘に激痛がはしります。本当に…。本当に…。ぎりぎり届きました。嘘じゃありません…。信じてください…。キレイに拭きました。初めて自分の限界を超えられた気がします。深夜2時、人知れずトイレで戦った男の話でした。下品ですみません…。

私が怪我をする直前に家族が不思議な夢を見たそうです。特に義母は神事や慣習を大切にする人で、普段から不思議な夢を見たりするそうです。私が怪我をした日も、「お墓が崩れる夢を見た。今日は何か悪いことが起こるかもしれない。」と心配していたそうです。ちなみに私の父はまったくの無頓着で靈感などの類とは縁のない人ですが、怪我をする数日前に、職場のこども園で園児が階段から落ちて大怪我をする夢を見たそうです。きっと私の怪我と無関係ではないでしょう。皆さんもそんな夢を見たら、大切な家族に「今日は何かあるかもしれないから気をつけよう。」と一言伝えておきましょう。事故を軽減できるかもしれないし、何も無ければ尚良しです。言うのはタダです。データ重視の社会ですが、直感・感性はデータを超越するスピードやエネルギーを持っているかもしれませんよ。

話はそれますが、私が怪我をした時の園長(母)の第一声は「園の子じゃなくて、良かったわ～」です。(汗)もはや親の血は流れていないようです。福祉従事者の鏡です。たいしたもの、ホントに…。

最後になりますが、人生初の手術でしたので、少しだけ落ち込むこともありましたが、リハビリは続いておりますが、現在ほぼ怪我は完治しておりまして、元気に職場復帰しております。活動に参加できない時期も「闘病記読んでいるよ」などと声をかけて頂くと、とてもありがたかったです。このような機会を与えて頂き、委員長はじめメンバーにこの場をお借りしまして、御礼申し上げます。皆様、3カ月にわたり乱文にお付き合い頂きまして、ありがとうございました。

(記事…島田 昌広)